

# 平成 1 6 年度学校経営計画表

## 1 学校の現況

学校番号	4 7	学校名	県立鉾田農業高等学校				課程	全日制		学校長名	市毛 寿彦					
教頭名	宮内 淑人								事務(室)長名	渡辺 完						
教職員数	教諭	2 9	養護教諭	1	常勤講師	9	非常勤講師	4	実習教諭実習講師、実習助手	1 0	事務職員	4	技術職員等	6	計	6 3
生徒数	小学科	1 年		2 年		3 年		4 年		合計		合計クラス数				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	農業科	2 8	1 2	4 0	6	5 0	1 0			1 1 8	2 8	6				
	食品化学科	1 9	1 3	1 3	2 0	1 5	1 9			4 7	5 2	3				
情報経営科	1 3	4	1 6	9	1 8	8			4 7	2 1	3					

## 2 目指す学校像

実践的な教育をととして個人の能力を開発し、一人一人のよさを伸ばすと共に、勤労及び協調の精神を培う。  
 そして、生きる力を育み、社会に貢献できる健康な人材を育成する。  
 また、地域の農業高校として、教職員が一致協力して学校経営に努め、将来、起業家精神を持つ農業経営者の育成に努めると共に、生徒一人一人の進路希望の実現を目指す。

## 3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現 状 分 析	課 題
教科指導	生徒の基礎学力が不足している。また学習意欲も乏しく、学習態度が身に付いていない生徒が多い。	いかに授業に参加させ、理解させるか工夫改善を要する。
生徒指導	毎日30名程度の生徒が遅刻してくる。規範意識が低く、同じ校則違反を繰り返す生徒がいる。	基本的生活習慣の確立（遅刻・挨拶・服装等）、保護者と連携を密にして、規範意識を高め、より良い生活習慣を身に付けさせる。
進路指導	就職・進学に対する目的意識が低い。	将来の職業を顕在化させ、目的意識を高揚させる。卒業時の進路希望実現100%を目指す。
特別活動	部活動に参加する生徒が少ない。生徒会・農業クラブの活動に新展開が欲しい。	いかに部活動の加入率を高めるか。農業クラブ県大会での上位入賞を目指す。
専門教育活動	入学生が偏差値で割り振られている傾向があり、勤労意欲の低い生徒があり、円滑な実習が難しい。	農業高校の良さ・魅力をいかに中学生に伝えるか。いかに実習の楽しさ・大切さを理解させ意欲を高めるか。

## 4 中期的目標

- 1 各学科の特色を出し、魅力的な教育課程の編成する。教科指導に関する校内研修（公開授業等）を行い基礎学力の向上を図る。
- 2 生徒の「自分はダメ人間だ」という意識の払拭を目指すとともに、夢や希望を持ち、日々前向きに努力できるような方策の確立を目指す。
- 3 勤労意欲を高め、起業家精神を身に付けさせる方策の確立を目指す。
- 4 部活動の加入率を高め、活性化を図る。地区予選突破・県大会出場を目指す。

## 5 年次ごとの重点目標

年次	重点目標	具体的目標	達成状況
1年次	1 教育課程の見直し	各学科の学習内容を検討し、それにともない教育課程を編成する。	
	2 計画的な進路指導	進路希望調査・3者面談・進路講話・インターンシップ・企業訪問等を計画的に実施する。	
	3 部活動の活性化	新入生を全員加入にし、加入率を高める。	
	4 基礎学力の向上	放課後等における課外・補講等の実践。	
	5 専門教育の充実	銚農アグリ（研修会）の開催。 先進校の視察及び報告会の実施。	
2年次	1 見直した教育課程の実践	習熟度別学習等の導入や公開授業の実施	
	2 計画的な進路指導	進路希望調査・3者面談・進路講話・インターンシップ・企業訪問等を計画的に実施する。	
	3 部活動の活性化	地区予選突破・農業クラブ県大会最優秀を目指す。	
	4 基礎学力の向上	放課後等における課外・補講等の実践。 各種検定試験の合格を目指す。	
	5 専門教育の充実	銚農アグリ（研修会）の充実。先進校の視察及び報告会の充実。	
3年次	1 見直した教育課程の実践及び見直し	習熟度別学習等の工夫改善や公開授業の充実	
	2 計画的な進路指導	進路希望調査・3者面談・進路講話・インターンシップ・企業訪問等を計画的に実施する。	
	3 部活動の活性化	地区予選突破・農業クラブ県大会最優秀を目指す。	
	4 基礎学力の向上	放課後・長期休業中等における課外・補講等の実践。 資格取得の奨励。	
	5 専門教育の充実	銚農アグリ（研修会）の充実。先進校の視察及び報告会の充実。	